

【令和8年度 医療介護専門職研修会】

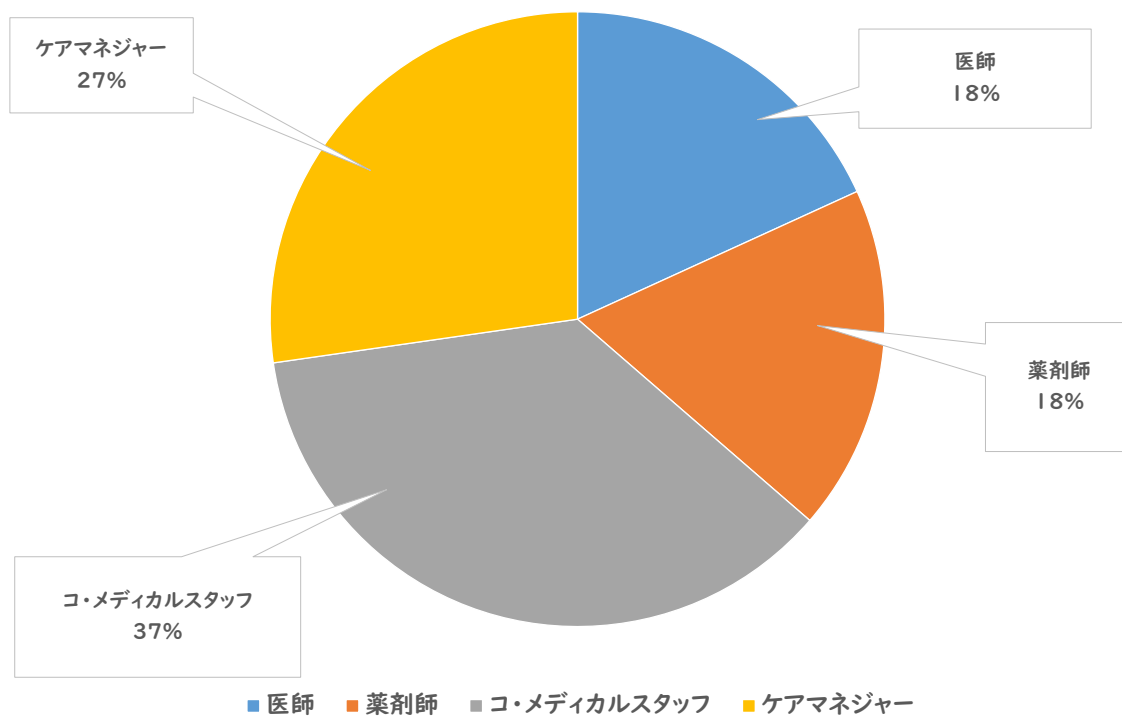
●開催日 令和8年7月16日(木)19時～20時00分

●テーマ「現場で生きるリハビリ情報～地域包括ケアを支える多職種で共有する～」

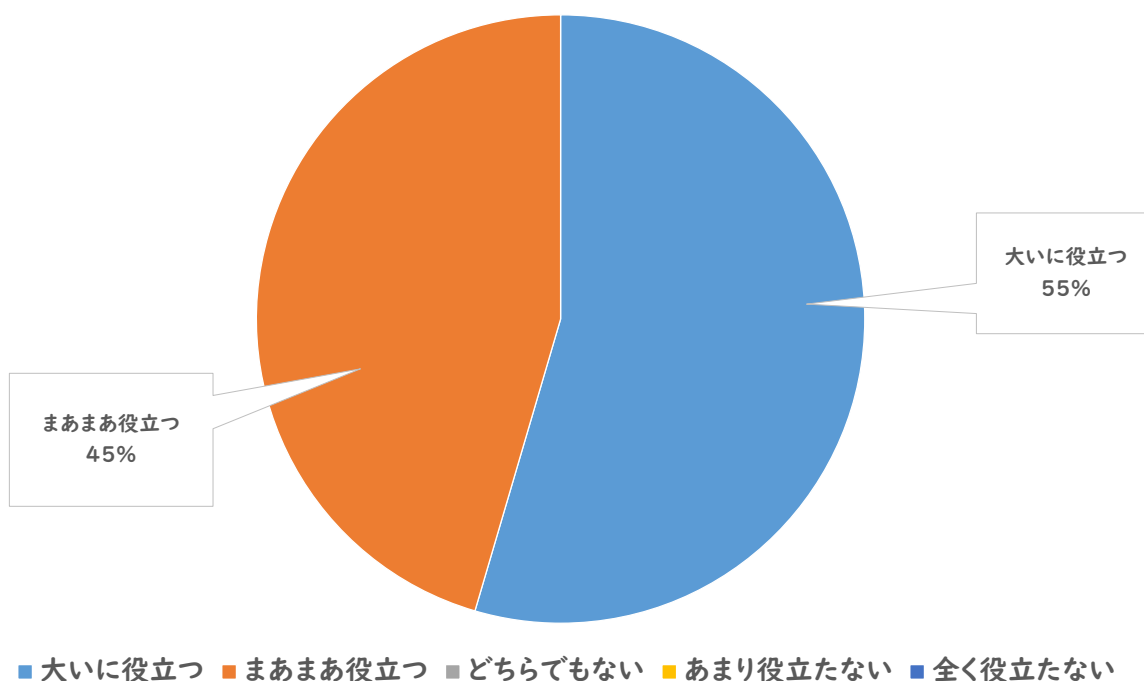
●当日参加者 39人(Zoom23人 YouTube16人) 参加率72.2%(申し込み 54人)

●アンケート回答数 11人 回答率 28.2%

Q1: 職種



Q2: 今後の業務に役立つ研修会であったか?



●参加者からの感想

- ・自分がわかっているつもりでも、キチンと理解できていないことが沢山あるのだということを再確認できた。
- ・細かい点をよく理解できました。わかりやすい内容でした。
- ・今後、在宅医療のさらなる発展が必要と再確認いたしました。
- ・わかりやすかった。
- ・良かった。
- ・リハビリの基礎知識を再度学べて良かったです。ADLを見る際の注意点など理解することができました。
- ・今まであまり視点を置いていなかった資料等の読み込み、具体化を実行に移したい。
- ・しているADLとできるADLを区別し記載する大切さを改めて感じた。多職種と連携しご本人、ご家族にとって最善な生活方法を模索する必要があると感じた。
- ・ADLの評価、しているADLはFIM（回復期で使われる事が多い）、できるADLはBI（急性期で使われる事が多い）の違いを学んだ。後の参考にしたい。
- ・リハビリテーション経過報告書と総合実施計画書において、専門用語で表記されていて、ご家族の方には理解がしにくい場合があるというお話がありましたが、やはりご家族の方のためにもわかりやすい報告書の説明が大切なのだと感じました。介護の現場、多職種での連携にはまだまだ壁があり、しっかりと情報共有とコミュニケーションを行っていくべきだと思いました。
- ・リハビリテーション経過報告書とリハビリテーション総合実施計画書の違いについて理解することが出来ました。また、基本動作、移動動作、ADL動作をみる視点について学ぶことができました。

●今後の研修会開催に関するご意見

- ・患者さんやご家族の社会的支援について。
- ・栄養。
- ・運動療法やストレッチ。

●その他、ご要望・ご意見

- ・わかりやすい研修会、ありがとうございました。
- ・少人数で「本音トーク」知らないことが多いので・・・なかなか聞けない実情があります。